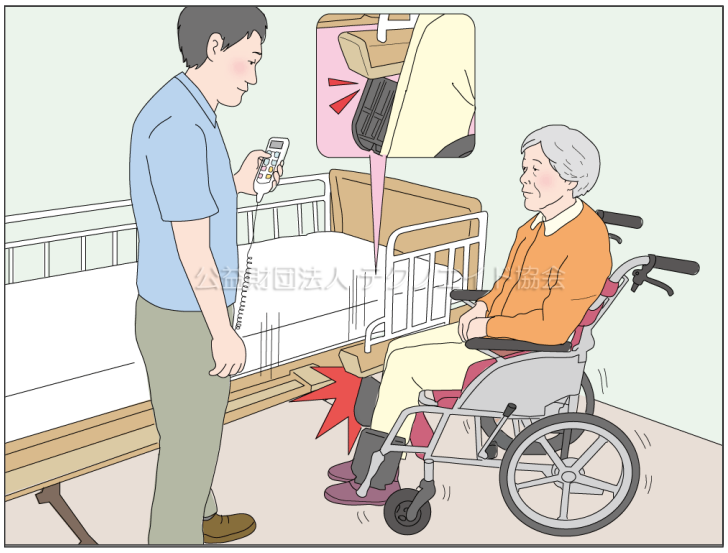
Case：354

ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートがベッドに挟まれそうになる

場面の説明

ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートが介護用ベッドに挟まれそうになった



利用シーン	移乗 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介護用ベッドの高さを下げる際に、車いすのフットプレートがベッドに挟まれそうになった事例です。移乗の際にベッドに車いすを接近させすぎたために、起こってしまいました。介助者はベッドを下げる際、常に何かを挟み込まないか細心の注意が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ベッド下降時の挟み込みへの注意不足だった
人：介助者の車いすの停車位置が前すぎた
管理：挟み込みの確認を介助者に指導できていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.